

広島への折り鶴再生へ

クラウン・パッケージら4社

循環プロジェクト開始

クラウン・パッケージはコニカミノルタジャパン、近畿日本ツーリスト、トモエの4社で、広島平和記念公園に全国から届く折り鶴を再生紙に加工して再び折り紙に戻す「折り鶴の再生・循環プロジェクト」を開始する。再生紙にはクラウン・パッケージの「カラフルウィッシュ」を用いる。

平和記念公園に捧げられている折り鶴をクラウン・パッケージとトモエが管理し、広島市内で紙以外のものを取り除いた後で再生紙

に加工する。その再生紙をもとにコニカミノルタが裁断、印刷、加工を行い、折り鶴から再生折り紙を作成。近畿日本ツーリストは修学旅行などの学校行事で平和記念公園を訪れる予定の学校に、平和学習の教材として有償で提供する。児童によって折られた折り鶴は再び平和記念公園に捧げられる仕組みだ。

同プロジェクトの売上げの一部はクラウン・パッケージを通じて日本ユネスコ協会連盟に寄付する。

平和記念公園には国

内外から年間約1000万羽の折り鶴が届けられ、一羽一羽に平和への思いが託されている。広島市ではこの平和を願う輪を広げるため「折り鶴に託された思いを昇華させるための方策検討委員会」を設置。平和への思いを継承する取組みが始まった。

同プロジェクトではこの広島市の取組みに賛同し、平和記念公園の折り鶴を折り紙として再生することで人々の平和への思いを未来につなぐことを目指している。(涌井実)